

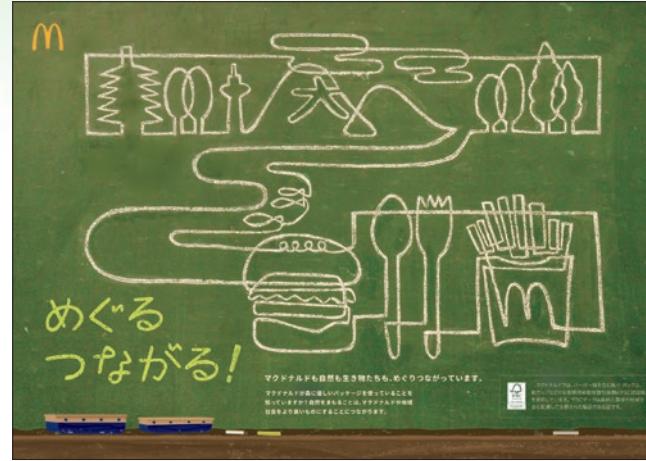
生物多様性 マクドナルド×京都市立芸術大学×京都市 「生物多様性」について考えて、行動する 産学公連携プロジェクト トレイマット デザインコンテスト

私たちの生活は、多岐で豊かな自然が様々な生物を育み、その恵みを受けて成り立っています。日本マクドナルド株式会社は、食を提供する企業として、いつまでも美味しいお食事を可能な限りサステナブルな食材・資材でお届けしたいと願っています。日本マクドナルド株式会社、京都市立芸術大学、京都市は、「生物多様性」の保全やサステナブルな食材・資材の調達が、持続可能な社会の実現につながるとの想いに一致し、このプロジェクトが実現しました。

このプロジェクトでは、サステナブル・ラベル（※下段のコラム参照）や京都市の生物多様性の施策、マクドナルドの取組を学んだ京都市立芸術大学美術学部デザイン科の学生が、マクドナルドに来店するお客様に生物多様性について考えていただくきっかけとなるよう、店舗で使用しているトレイマットのデザインに挑戦しました。

最優秀賞・優秀賞・京都市長賞が選ばれ、最優秀賞の作品は実際のトレイマットとして京都市内のマクドナルド全店舗で使用されました（2023(令和5)年2月8日～2週間）。

国産木材を使用した
店舗での表彰式の様子



高野 知佳さん デザイン科2回生

マクドナルドには自然を大切にする取り組みが数多くあります。マクドナルドも、森とそこに暮らす人や生き物たちも、つながり合ってよい関係を築いていく様子を一本の線で描いたイラストで表現しました。

第1次選考に選ばれた上記4点以外の12作品



YouTubeで本プロジェクトの様子が見られます

第6回京都大学超SDGsシンポジウムでの活動報告の動画
15:00～プロジェクトの説明とコンテストの開始について

第7回京都大学超SDGsシンポジウムでの実施報告の動画
26:40～実施内容の説明と、最優秀賞、京都市長賞の作者による作品の紹介等について



サステナブルソーシング（調達）とは、地球環境や人々の暮らし、社会に配慮された持続可能な調達活動のことです。

生産過程で化学肥料を大量使用することによる土壤や水質の汚染がないか、また二酸化炭素の排出を削減しているかなど、環境への配慮のほか、労働者の人権や労働環境にも配慮されて作られている食べ物や資材を使うことです。

サステナブルソーシングの判断基準として役立つのが、環境や人権などに配慮して生産された証明となる「認証マーク」です。



FSC®認証（森林保全）

FSC®認証は環境、社会、経済の便益に適い、きちんと管理された森林から生産された林産物や、その他のリスクの低い林産物を使用した製品を目視で消費者に届ける仕組みです。



MSC認証（水産資源保全）

MSC「海のエコラベル」は、水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能なMSC認証漁業で獲られた天然の水産物の認証です。



レインフォレスト・アライアンス認証（持続可能な農業）

レインフォレスト・アライアンス認証マークは、製品（あるいは指定された成分）が人と自然とともに繁栄する世界を作ろうとする農業生産者、林業者、そしてあるいは企業で作られたことを表しています。レインフォレスト・アライアンス認証マークは、持続可能性の強化につながる手法を用いて生産された原料が使用された製品であることを意味します。詳しくはrainforest-alliance.org/jaをご覧ください。



RSPO認証（持続可能なパーム油の調達）

RSPO認証の持続可能なパーム油（CPO）を生産または実際に取り扱うRSPOメンバーがRSPO認証を取得していることを個人に保証します。これには、メンバーや持続可能性要件にコミットし、準拠していることの保証が含まれ、認証ステータスを主張し、サプライチェーン全体にこれを伝えることができます。

店舗でお客様に提供している紙製の容器包装類とストローおよび木製カトラリー、トレイマットは、すべて森林環境や地域社会に配慮して作られたFSC®認証を取得した紙・木材を使用しています。

お子様からご高齢の方まで幅広い年代に人気のフィレオフィッシュを使用する白身魚。人類共有の財産である水産資源を守るために、日本マクドナルドはMSC認証を取得した漁業で獲られた天然の水産物の認証です。

コーヒー栽培は気候変動による影響を受けやすく、気候変動により栽培に適した地域が今後移動していく懸念があります。日本マクドナルドがお客様に提供しているコーヒーは、レインフォレスト・アライアンス認証を取得した農園が栽培するコーヒー豆を100%使用しています。

パーム油は、世界で最も多く生産・消費されている植物油。環境や地域社会に配慮して生産されないと、熱帯雨林や様々な生物の大規模な消失に直接影響を及ぼしてしまいます。日本マクドナルドが店舗で使用しているフライオイルは、RSPO認証を取得しています。

マクドナルドでは、サプライヤーの皆さまと協力し、サステナブルラベルを取得した食材・資材の調達を積極的に進めています。

京都市内で生物多様性を学べるイチ押シスポット！

京都市は、昔から山紫水明の都とよばれ、緑美しく、川の水が清らかなまちとして知られています。多くの人が住んでいるにもかかわらず、現在でも豊かな自然環境にめぐまれています。

市内には、京都御苑やお寺・神社が多く、境内には美しい森があります。また鴨川など、周囲の山から清流を集めて街の中を流れる川もたくさんあります。そこにはいろいろな生きものが生息しており、生物多様性を学べるフィールドとなっています。そんな京都のイチ押シのおすすめスポットを紹介します。



京都といったらやっぱり鴨川！

アクセスが良い

自然というとアクセスが悪そうなイメージがありますが、鴨川は市内の中心を南北に流れており、公共交通機関からアクセスできるポイントも多いので、車のない人や他府県の人でも簡単に来ることができるという特徴があります。

もちろんいきものもたくさんいる

鴨川の場合、よくある三面護岸工事のようなものはされておらず、小さな虫たちから魚や両生類、爬虫類もいて、それらを食べにくく鳥たちもたくさんいます。

一方で外来生物であるヌートリアやウシガエルなども生息しているため、ある意味素晴らしい環境ではないのですが、生物多様性を学ぶという点では、良いことも悪いことも同地点で学べるので適しているのではないかと思います。

鳥類が人慣れしている

これはあまり良い話ではないかもしれません、観光地ということもあって、鴨川に来ている鳥たちは人をあまり警戒しておらず、必要以上に近づかない限り、ゆったりしているように見えます。双眼鏡を片手に散歩するだけでも多くの種を知ることができます。



京都市で学ぶ生物多様性 鞍馬



鞍馬で毎年10月に開催される伝統行事「鞍馬の火祭」。大小様々な松明を担いで地域内を練り歩く行事です。松明には様々な自然資源が使われ、アカツマ、コバノミツバツヅ、フジ、スギ、などがあります。

松明づくりは山に材料を探りにいくことから始まるの

で、祭を継承する中で資源を持続的に、無駄なく利用する

ための知恵も受け継がれています。祭りの準備は春には始まり、この時期住民の方は花を目に、フジを探る場所を探します。鞍馬駅にも松明が飾ってあるので、祭を通じた生物多様性を感じてみてください！



奥野 真木保さん

京都大学大学院農学研究科修士2回生の奥野真木保です。大阪唯一の村出身で、実家では春はタケノコ掘りが恒例行事でした。里山資源の持続的な利用に关心があり、大学ではサンショウの採集利用に関する研究を行いました。おいしいものを食べるこれが大好きです。



喜安 奏太さん

京都大学農学部4回生の喜安奏太です。福岡県出身です。野鳥が好きで、所属している「エコへど京大」で作成したオンライン番組でも野鳥コーナーを作りました。京都御苑や鴨川でよく野鳥を探しています。

身边に見られる地衣類がイチ押シ



先ず多様性という意味では、身近な所でも様々な種類が生息している色も種類もそれぞれ、どれもこれも面白く美しい可愛いという点です。また、地衣類は極限環境にも適応する類種なる生命力により先駆種として火山活動などで新たにできた土壌のない陸地にいち早く進出し、陸上の生物多様性の第一段階に担う存在でもあります。さらに面白い事に、地衣類とは菌類が藻類やシアノバクテリアと共に共生する共生体のこと、それがどのように様々な形態を織り成しているのです。

島田 草太郎さん

京都大学理学部4回生の島田草太郎です。大阪府交野市出身です。数学を主に学んでいます。絵を描くのが得意です。哲学が好きです。社会学も興味があります。散歩が好きです。運動、特に走るのが好きです。



京都市内で生物多様性について学べるイチ押シスポットは京都御苑



京都御苑にて生育する樹木は約5万本といわれており、ウメや桜、モミジなどが季節の移ろいを感じさせてくれます。草地でもカンサイタンボウの群落など、500種類を超える植物が生えています。アオバズクなど数多くの野鳥も繁殖・生息し、バードバスなどの観察の場も整備されています。他にも、500種類のチョウや400種類のキノコなど、まさに生きものの宝庫となっています。いきものについて学べる看板もあり、いきものに詳しくなくても楽しむことができます。

参考：https://www.env.go.jp/garden/kyotogyoen/1_intro/nature.html

喜安 奏太さん

京都大学農学部4回生の喜安奏太です。野鳥が好きで、所属している「エコへど京大」で作成したオンライン番組でも野鳥コーナーを作りました。京都御苑や鴨川でよく野鳥を探しています。



special sponsorship



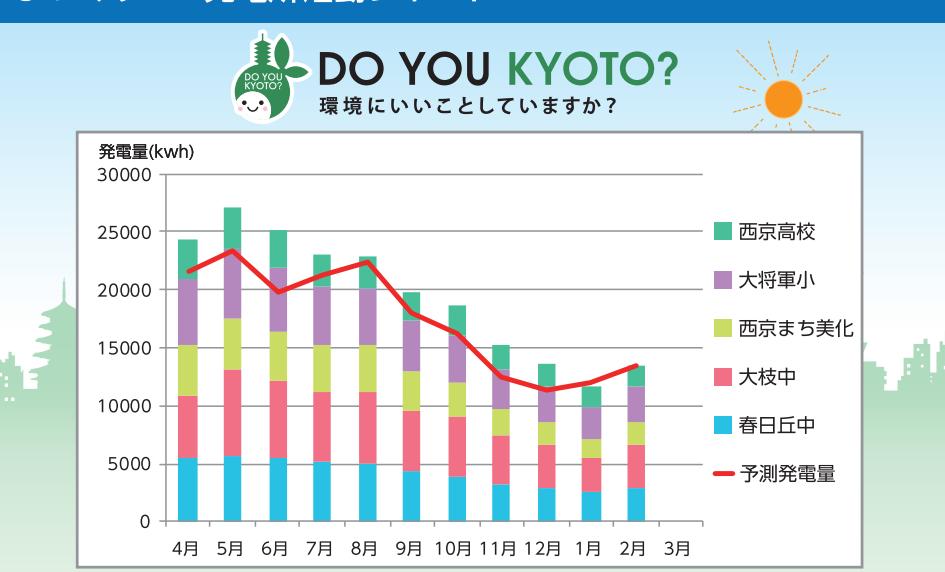
supported by



〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学地球環境学堂 浅利研究室

びっくり！エコ新聞事務局
Mail: ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp

びっくりエコ発電所活動レポート



京都市市民協働発電の取組ですが、当団体は5ヶ所の施設に設置しております。2022年4月から2023年2月まで予測発電量に達しなかったのは2月だけでした。
また、4月から2月までの予測発電量に対しては112.3%で、例年に比べて好調に推移しています。
引き続き、施設の発電状況をモニタリングし、事業の安定的な運用をしてまいります。